取扱説明書

AQUA-DECK　DQ45SDC12V(E)/NS45
KING-FISCHER

サンマックス株式会社

〒342-0005　埼玉県吉川市川藤２６２２

TEL048-981-5329　FAX048-982-4011

Son-Max　http://www.sanmax.co.jp

この度は【アクアリフト】シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の使用・取扱いの際は本製品の取扱説明書をよくお読みになったうえ安全にご使用ください。お読みになったあとはいつでも見られる所に保管してください。

安全上の注意　※ご使用前に必ずお読みください。

本製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし製品はすべて間違った使い方をすると故障や事故など人身事故を招く恐れがあります。事故を防ぐためにも次のことを必ずお守りください。

①安全のために注意事項を守る

ご使用上の注意、本製品の注意事項をよくお読みください。

②定期的な点検

年次点検、月次点検、使用前の点検を行ってください。

③故障したら使わない

リフト、ユニット動作がおかしくなったり破損したことに気づいたら直ちに使用を中止し購入店もしくは弊社まで連絡ください。

使用上の注意　※ご使用前に必ずお読みください。

警告

●本製品の改造や本説明書に記載されていない取扱いは絶対しないでください。

●本製品が変形又は損傷した場合には使用を中止し速やかに交換してください。

●分解や改造は火災や感電の原因となります特にユニットは高圧の電流が流れているので絶対に分解しないでください。

●ユニット内部の水タンク内に異物が入ると故障の原因となりますすぐ定期的に水の交換を行ってください。

●電源コードやリモコンコード、水圧ホースはむやみにひっぱったりしないでください。

●コードやホースに亀裂などがありましたら速やかに修理または交換してください。

●電源コードやリモコンを加工したり重いものをのせたり引っ張ったり傷をつけたりしないでください。

●電源コードやリモコンを抜くときは必ずプラグ部分をもって抜いてください。

●自動車での移動はブレーキとアウトリガーをはって転倒などに注意してください。

●乗員は一名です最大荷重以下で使用し一人での作業は禁止してください。

●手すりから乗り出したりステージに脚立などを増すことは絶対厳禁です。落下転倒には充分注意し安全に使用してください。

●凍結の恐れがある場合は作動液（不凍液）を混入してください。

注意

●湿気やホコリ、油煙、湯気の多い場所での使用しないでください。火災や故障の原因になります。

●異常に高温な場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに放置しないでください。変形や故障の原因になります。

●海辺や砂地等での使用は砂ホコリが原因で故障するばかりか修理がきかない場合があります。

●不安定な場所での使用は止めてください。落下破損、損傷の原因になります。

●使用後は必ず電源を抜いてください。

●長期間使用しないときは電源コードをコンセントから抜いて保管してください。火災の原因になります。

お手入れについて

使用後は汚れがついたときはできれいに拭取ってください。

本体のお手入れ

●汚れがひどいときには水で薄めた中性洗剤に布に浸し固く絞ってから汚れを拭取ってください。

●アルコールやシンナー、ベンジン等は使用しない。変質したり塗装がはがれる恐れがあります。

●可動部は定期的に注油してください。

ユニットのお手入れ

●水（作動液）は定期的に交換し、冬場は凍結しないよう注意してください。

●電源コードやリモコンコード、水圧ホースも点検清掃してください。

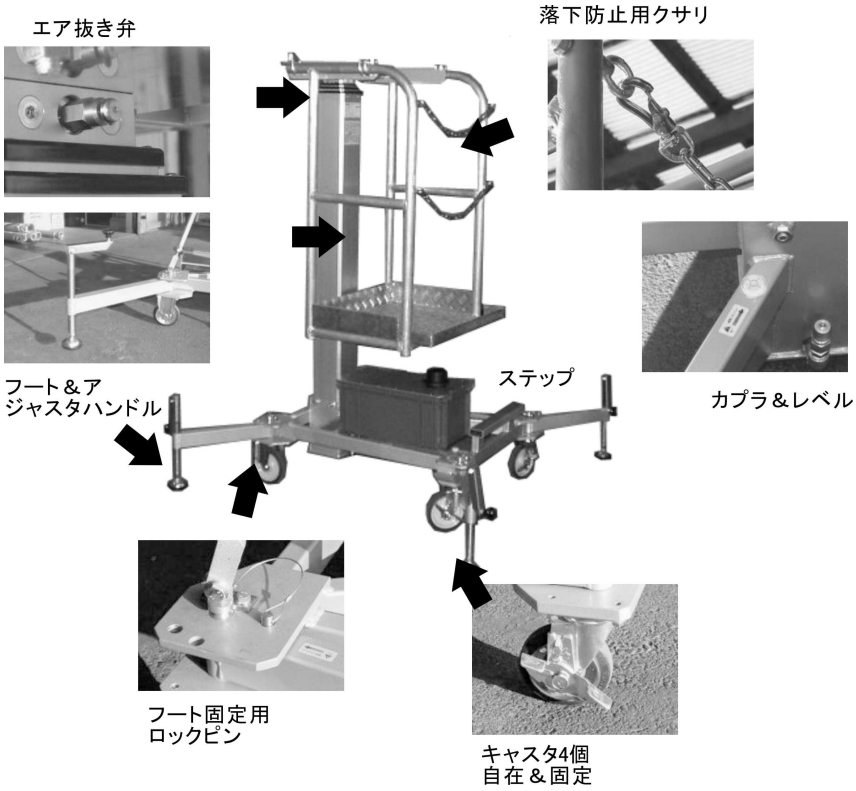
主な仕様

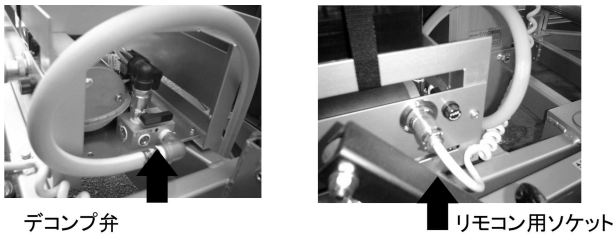
リフト	
モデル	DQ45S
最大床高さ	4500㎜
収納寸法	H1760XW780X1200㎜
自重	200kg※水圧ユニット、バッテリー含む
乗員数	1名(125kgf)
ステージ	600X550XH1050㎜
接地対角／対辺	1900/1400㎜
段数（ポール）	4段
移動キャスタ	Φ125
その他	サイドステージ
水圧ユニット	
電源	AC100V　250W　50/60Hz
寸法	-
圧力設定	0.75Mpa(7.5kgf/cm2)
吐出量	6L/分
水タンク容量	20L
自重	-
バッテリー	12V　60AH　シールド形
充電器	P12100S

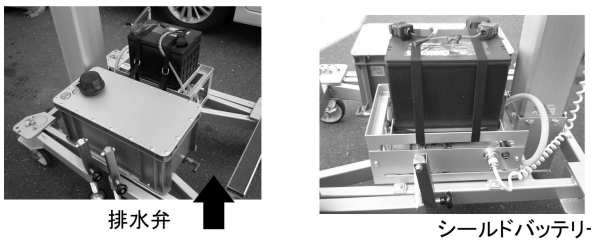
構成部品

リフト本体	リモコンスイッチ
水圧ホース	充電器
	取扱説明書／1冊

各部の名称


エア抜き弁
落下防止用クサリ
フート＆ア
ジャスタハンドル
ステップ
カプラ＆レベル
フート固定用
ロックピン
キャスタ4個
自在＆固定

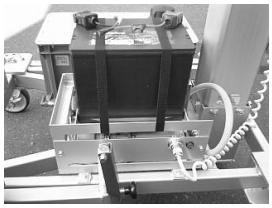

デコンプ弁
リモコン用ソケット


排水弁
シールドバッテリー

給水口
Calcium側に
して充電
充電スイッチ
入り・切り

使用方法

水圧ユニットの準備

	水圧ユニットの上部にある給水口から水(作動液)を十分入れてください。 ※凍結の恐れがある場合は作動液又は不凍液を混入してください。凍結に十分注意。
	リモコンを水圧ユニット側面のメタコンに接続。外周リングを回し抜けないようにしてください。
	水圧ホースも水圧ユニット前面のカプラに確実に接続しホースのストップ弁は開いてください。**デコンプ弁は閉めた状態。※開いていると動きません。** デコンプ弁は横状態 縦にすると開いた状態 ※強制降下時などで使用します。

リフトの準備

	キャスタのブレーキ(2 個)をかけてください。フート（4 本）を開きピンを確実にセットしアジャスタハンドルで水平調整を行ってください。レベルはポールの根元にありますので参考にしてください。
	手すりのクサリを取り付けてください。 クサリが外れないよう作業前にしっかり点検し乗り出したり、ステージの上に脚立など使用しないでください。落下、転倒無いよう安全に十分配慮してください。
	リモコンを手すりのアイボルトに取り付け落下しないよう注意。リモコンの上ボタンを押すと上昇、下ボタンを押すと降下します。フワフワ不自然に動作する場合はエア抜きを行ってください。

エア抜き方法

	リフトを 20㎝ ほど上昇させエア抜き弁を押す。水が出てきたら完了です。 定期的にエア抜きはしてＬください。

充電方法

	付属の充電器でワニ口を間違えないよう接続。 **※＋－の接続に注意！※充電器のスイッチはカルシウム側に設定！**

故障診断

上昇しない	
原因	**対策**
デコンプ弁が開いている	**水圧ユニットのデコンプ弁を閉じる**
電源コード、リモコンの断線	**電線の修理**
ホースのストップ弁が閉まっている	**水圧ホースのストップ弁を開ける**
カプラが接続していない	**水圧ホースとユニットとリフトカプラに確実に接続する**
リフトにエアがたまっている	**エア抜きをする**
ポールに傷やヘコミがある	**ポールの修理又は交換。メーカ工場へ戻す。**
バッテリーの容量	**充電又は交換。充電器も確認**
水が不足	**ユニットに充分水を補給する**
自然降下する	
原因	**対策**
チェッキ弁の異常	**チェッキ弁を交換**
デコンプ弁が開いている	**デコンプ弁を閉じる**
電磁弁の異常	**電磁弁を清掃又は交換**
ポールから水漏れ	**ポールのパッキン交換。メーカ工場へ戻す**

作業台使用基準

１．適用

この基準は（社）仮設工業会の高所作業台の使用方法等について定める。

２．使用方法

高所作業台を使用するに当たっては、次の事項によるものとする。

●作業者には、あらかじめ安全な使用についての教育を行うこと。

●複数の人数で使用する時は作業を指揮するものを選任し，その者に作業を指揮させる。

●手摺り、中さんなどを止むを得ず取り外したときは安全帯の使用など墜落による作業者の危険を防止するための処置を講ずること。なお、取り外した手摺りなどは、その必要がなくなったとき速やかに元の状態に戻すこと。

●作業中は保護帽を着用すること。また、安全帯使用が命ぜられた場合には安全帯をする。

●作業中に作業関係者以外の者が作業区域内に立ち入ることによる危害を防止する為、その周辺には柵、囲い又は標識などにより立ち入り禁止区域を明示すること。

●作業を安全に行う為の作業に必要な照明を確保すること。

●作業床上では、脚立、椅子などを使用して作業をしないこと。

●複数の作業台を併置してその上に足場板などを掛け渡して作業床として使用しないこと。

●目的外の用途に使用しないこと。

３．高所作業台はむやみに分解、組み立てを行わないこと。

４．高所作業台の使用に当たっては次によるものとする。

●原則として作業板を最低高さまでに下降させた後に行うこと。

●作業者を乗せたまま行わないこと。

●あらかじめ床面の凹凸、障害物などの状態を確認し移動中の転倒を防止すること。

５．高所作業台の設置に当たっては次によるものとする。

●作業床をできるだけ水平に保つこと。

●不意の移動を防止する為ブレーキ、アウトリガー又は、ジャッキ等を確実に使用する。

６．高所作業台に荷を積載するに当たっては次によるものとする。

●最大積載ｶ荷重の表示を確認しこれを超えないこと。

●材料等を載せるときは転倒防止のため偏心しないように配慮すること。

７．架空電路に接近して定置し作業するときは電路電圧に応じた絶縁性能を有する物を使用するか、架空電路に絶縁防具などを装着する等、架空電路との接触による危害防止する為の措置を講ずること。

８．高所作業台の検査及び点検は告ぎによるものとする。

●年次検査は１年以内毎に１回定期に検査を行うこと。

動力などに作動するものの検査は荷重試験により行うものとし最大積載荷重に相当する試験荷重を積載して上昇及び下降の作動を定格速度により行い以上の有無を確認すること。

●月例検査は１ヶ月以内に１回定期に検査を行うこと。

▲昇降装置の異状の有無

▲移動装置、ブレーキ等の異状の有無

▲操作装置の異状の有無

▲作業床及び支持構造の異状の有無

▲安全装置の異状の有無

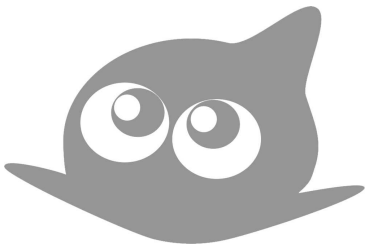
▲圧系統及び電気系統の異状の有無

メモ

保証期間：ご購入後 1 年間

消耗品や破損によるものは対象外です。

製造番号	
購入年月日	
販売店	



サンマックス株式会社

〒342 -0005　埼玉県吉川市川藤２６２２

TEL048 -981 -5329　FAX048 -982 -4011

Sun-Max　http://www.sanmax.co.jp